

(例)結核予防指針における目標・指標(2011-2020年)

分野	基準値	中期目標	長期目標
結核罹患率の減少	2008	2015	2020
全結核罹患率:低まん延化(人口10万対10未満)を目指して	19.4	13	10
小児(14歳以下)結核:制圧(人口10万対0.1未満)を目指して	0.55	0.3	0.2
1. 適正な治療と患者管理			
(1)適正な治療の推進			
PZAを含む4剤標準治療の推奨 (全結核初回治療患者 80歳未満)	74%	85%	85%
(2)適正な患者管理の実施			
新登録喀痰塗抹陽性患者の3日以内の面接		100%	100%
治療開始時の喀痰塗抹検査の把握		100%	100%
菌培養検査および感受性検査結果の2-3カ月以内の把握		100%	100%
(3)DOTSの推進			
中断のおそれのある患者、独居、高齢者等DOTS(A,B)実施率		80%	80%
(4)治療結果の改善			
喀痰塗抹陽性初回治療患者の中断・失敗率	7%	5%以下	5%以下
2. 接触者健診の徹底			
喀痰塗抹陽性患者登録直後/2ヶ月後の接触者健診受診率		95%	95%
潜在性結核感染症治療の開始率		95%	95%
潜在性結核感染症治療の完了率		90%	90%
結核菌遺伝子分析の実施率(全培養陽性菌)		50%	90%
3. 予防			
(1)乳児期のBCG接種率(1歳未満)		~100%	~100%
4. ハイリスクグループ対策の実施			
ホームレス者、外国人など対象者に対する定期的結核健診受診率		60%	70%

ただし、各項目の未入力率を5%未満とする。

